

令和6年度医療安全セミナー・ワークショップ実施要領

厚生労働省関東信越厚生局

1 目的

医療安全対策に関する知識等の修得、討議等を行うことにより、医療機関の管理者や安全管理者等の資質向上を図り、もって医療の安全性の向上を図ることを目的とする。

2 主催

厚生労働省関東信越厚生局

3 開催日時

- (1) 医療安全セミナー 令和6年11月1日～12月20日（オンデマンド配信期間）
- (2) ワークショップ 令和6年11月28日（木） 10時～17時15分

4 開催形式

- (1) オンライン配信（オンデマンド）
- (2) 対面（集合研修）

5 内容等

別添プログラム参照

6 参加費

無料（ただし、受講に係る通信費および交通費等の諸経費は受講者の負担とする）

7 対象者

(1) 対象地区

東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、群馬県、栃木県、新潟県、長野県
山梨県、茨城県

(2) 対象者

ア 医療安全セミナー

- (ア) 関東信越厚生局管内の医療機関において、医療機関の管理者、医療安全管理者、その他医療安全管理業務に従事する者
- (イ) (ア) 以外で関東信越厚生局管内の医療機関に勤務する者で、受講を希望する者
- (ウ) 関東信越厚生局管内の各都県、保健所設置市区において医療安全に関わっている者

イ ワークショップ

(ア) 医療安全管理者

（医療機関全体の安全管理を担当する実務者。専任、兼任は問わない）

8 募集人数

- (1) 医療安全セミナー 1000人 (先着順、定員に達し次第締め切り)
- (2) ワークショップ 60人 (応募多数の場合は、早期締め切りまたは選考)

9 申込方法、受講決定

- (1) 受講希望者は、下記申込期間に関東信越厚生局ホームページから申込む。

【申込期間】令和6年9月27日(金)から10月25日(金)まで
(申込期間内であっても定員に達した場合は締め切り)

- (2) 受講決定

ア 医療安全セミナー

ホームページ上からの申込みによる先着順とし、後日、登録メールアドレスあてに受講用URLを送付する。

イ ワークショップ

必要事項(病院名・氏名・電話番号)を記載したメールを「関東信越厚生局 健康福祉部 医事課 医療安全調整係 (iryouanzen-kanshin@mhlw.go.jp)」宛てに送付することをもって申込みとし、後日、登録メールアドレスに受講決定のメールを送付する(応募多数の場合は、早期募集締め切りまたは選考)。

10 参加証の交付

- (1) 本セミナーは、「参加証」の発行は行わない。
- (2) 本ワークショップは、「参加証」の発行を行う。

11 個人情報について

開催に際して、受講者から入手した個人情報は、本セミナーおよびワークショップに係る事務連絡等の運営目的以外には利用しないものとし、漏洩、滅失又は破損等のないように厳重に管理するものとする。また、統計分析に用いる場合には、個人名及び施設名を特定できない形とする。

12 注意事項、その他

- (1) 本セミナーおよびワークショップの録画・録音・撮影、スクリーンショットや資料の無断転用及び受講用URLの無断転載は禁止する。万が一、これらの行為が発覚した場合、著作権および肖像権侵害で対処することがある。
- (2) 本セミナーおよびワークショップは、診療報酬に係る医療安全対策加算に関する施設基準における「医療安全対策に係る適切な研修」の一部(不足する要件を補足する研修)には該当しない。

13 問い合わせ先

〒330-9713

埼玉県さいたま市中央区新都心1番地1 さたま新都心合同庁舎1号館7階

関東信越厚生局健康福祉部 医事課
TEL : 048-740-0754 (代表)

令和6年度 医療安全セミナー・ワークショップ

● 医療安全セミナー（オンデマンド配信） 配信期間：（令和6年11月1日～令和6年12月20日）

開催形式：オンデマンド配信のみ（集合研修なし）

	プログラム（テーマ）	講師等
1	定型医療事故調査手法について ～ばらつきを生まない医療事故調査とは～	長尾 能雅氏 名古屋大学医学部附属病院 副病院長 患者安全推進部 教授
2	医療メデイエーションの理論と実際 ～患者との対話による関係調整～	和田 仁孝氏 早稲田大学法学大学院 教授
3	身体拘束の最小化	桐山 啓一郎氏 名古屋市立大学大学院 看護学研究科精神保健看護学 准教授 精神看護専門看護師
4	医療安全支援センターの取り組み ～医療機関との協働に向けて～	荒神 裕之氏 山梨大学大学院 総合研究部医学域 医療安全学講座 教授 (一般社団法人) 医療の質・安全学会
5	神奈川県医療安全相談センターの概要及び相談事例について	高野 満喜子氏 神奈川県健康医療局 保健医療部医療企画課 医療安全担当
6	医療事故情報収集等事業について	坂口 美佐氏 公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
7	患者・家族の立場からつたえたいこと	北田 淳子氏 ヘルパーステーションとまり木 代表理事

● 医療安全ワークショップ（集合研修） 開催日：令和6年11月28日（木）

開催場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 東京駅丸の内中央
(〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-9-1 丸の内中央ビル 12階)

時間	プログラム	講師等
10:00～10:05	開会挨拶	関東信越厚生局
10:05～10:10	アドバイザー挨拶	横浜市立大学附属病院 医療の質・安全管理部 部長 診療教授 病院長補佐 菊地龍明氏
10:10～17:00	ワークショップ (昼休憩 60分)	<u>テーマ</u> 定型医療事故調査手法について ～ばらつきを生まない医療事故調査とは～ <u>講師</u> 名古屋大学医学部附属病院 副病院長 患者安全推進部 教授 長尾能雅氏
17:00～17:10	総括	横浜市立大学附属病院 医療の質・安全管理部 部長 診療教授 病院長補佐 菊地龍明氏
17:10～17:15	閉会挨拶	関東信越厚生局

ファシリテーター：名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部 弁護士 北野文将氏
名古屋大外医学部附属病院 患者安全推進部 医師 山本啓央氏 他